

井上友一 ともいち 官僚。明治四年四月十日加賀國生れ、大正八年六月十二日没（八七—一九一九）。帝國大學卒。明治二十六年内務省に入り、府縣課長、神社局長を経て、大正四年東京府知事となるも、在任中病死。感化救済事業に努めた。

著書は、幕府大老松平定信とプロイセン宰相シユタインの事蹟が時代人格と等しく、其の民政改革の業績を擧げた點々著目した『樂翁と須多因』（明治四十二年十一月十二日友書刊行會）がある。他に『社會福社文獻の古典』『救済制度要義』（明治四十二年二月二十一日博文館。再刊・昭和二十八年三月十五日社會專業會館『社會福社名著選』）。

